



日刊工業新聞

2007年(平成19年)

3 23

発行所◎日刊工業新聞社2007

Business & Technology

第20076号 金曜日

日本精密電子

リテーナリング増産

神奈川・藤沢 第3工場開設

1.5倍の月3000枚へ

【横浜】日本精密電子(横浜市区、一住連努社長、045・805・3371)は、半導体製造装置部品の需要拡大に対応し、3000ウエハ1製造装置部品であるリテーナリングの生産量を月間2000枚から同3000枚に引き上げる。6月に熊本県荒尾市で熊本工場を操業するのに続き、10月には神奈川県藤沢市で藤沢第3工場を開設。現在、神奈川県内の3工場に分散していたリテーナリングの製造工程

のうち、切削加工以外のすべての鏡面加工作業を藤沢第3工場に集約する。藤沢第3工場の敷地面積は約1000平方メートル、建物は鉄骨造2階建て、延べ床面積は400平方メートル。同工場の開設に合わせて、NC旋盤5台と3次元測定器2台を新設するほか、既存工場からホリツシユ盤6台、ラップ盤1台、ウエハ洗浄用ゴムローラーの加工ライン、クリーンルームをそれぞれ移設する。投資額

は約2億円。半導体製造装置部品の研磨加工を強みとする同社は、耐熱性や強度に優れたスーパーエンブラの研磨加工で10アノ(ナノは10億分の1)以下の面荒さを維持する。大型ウエハの需要拡大を背景に急速に業績を伸ばしており、08年3月期は売上高22億円を見込んでいる。

弊社は従来製作所様向けのCMP装置に搭載するリテーナリング純正品を製造しております。今年度上期の需要には対応できる能力は充分に確保しておりますが、さらに下期以降の需要増に余裕を持ち対応すべくこの度の新たな設備投資になります。